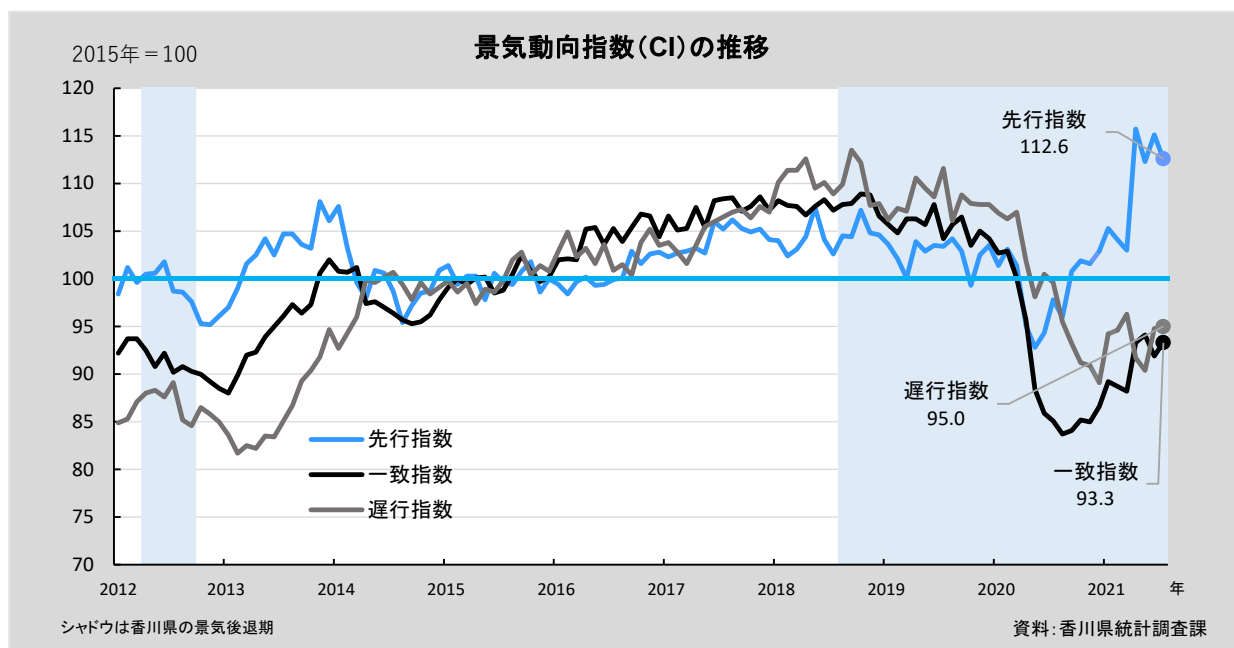


概況	景気は持ち直しつつあるが、感染再拡大の影響で一部では弱い動きとなっている。
個人消費	弱い動きとなっている。
住宅投資	持ち直している。
公共投資	減少傾向となっている。
生産活動	持ち直している。
雇用情勢	弱い動きが続いている。
貿易	輸出、輸入ともに増加している。
観光	弱い動きが続いている。

景気動向指数(かがわCI)

一致指数 2カ月ぶり上昇



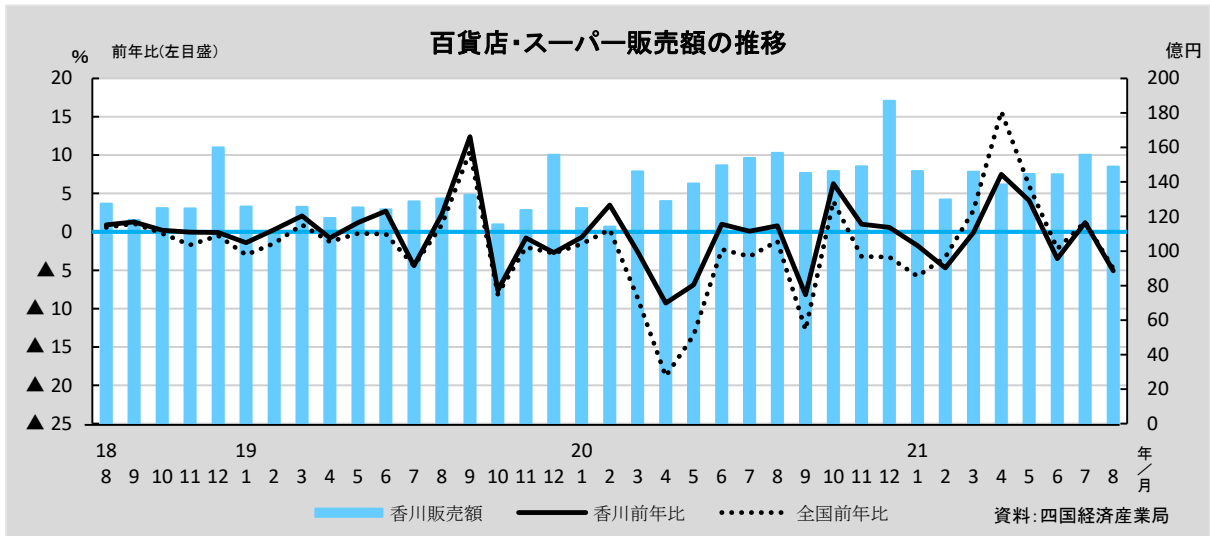
景気の現状をみると、7月のCI一致指数は93.3（前月比+1.4ポイント）と2カ月ぶりに上昇。CI先行指数は112.6（同▲2.5ポイント）と2カ月ぶりに下降。CI遅行指数は95.0（同+0.2ポイント）と2カ月連続で上昇。

景気の現状を示す一致系列の個別指標では、百貨店・スーパー既存店販売額、所定外労働時間指数、有効求人倍率等が上昇に寄与したことにより、前月から1.4ポイントの上昇となった。

採用景気指標	先行系列	寄与度	一致系列	寄与度	遅行系列	寄与度
	1 新規求人数	▲ 0.12	1 雇用保険受給者実人員	▲ 0.06	1 常用雇用指数	▲ 0.53
2 乗用車新車登録台数	0.51	2 有効求人倍率	0.34	2 有効求職者数	▲ 0.07	
3 鉱工業在庫率指数	▲ 1.54	3 所定外労働時間指数	0.54	3 消費者物価指数	0.18	
4 生産財生産指数	0.26	4 鉱工業生産指数	0.30	4 家計消費支出	▲ 0.13	
5 新設住宅着工戸数	▲ 0.28	5 鉱工業出荷指数	▲ 0.30	5 鉱工業在庫指数	1.16	
6 金融機関貸出残高	▲ 1.20	6 建築着工床面積	▲ 0.28	6 法人事業税調定額	▲ 0.97	
7 消費者態度指数	0.03	7 百貨店・スーパー既存店販売額	0.82	7 第3次産業活動指数	0.63	

●百貨店・スーパー販売額

2カ月ぶり減少 ↓

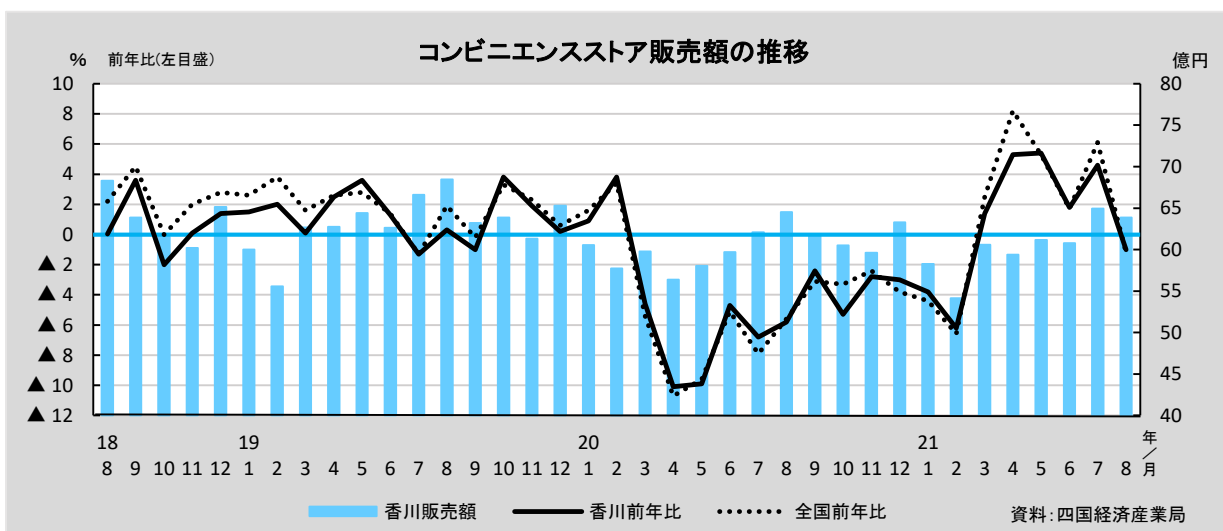


2021/8月	衣料品	身の回り品	飲食料品	家具	家庭用 電気機械器具	家庭用品	その他の商品	食堂・喫茶	合計
販売額(万円)	66,214	46,282	1,163,107	1,505	6,811	24,162	180,123	348	1,488,552
前年同月比(%)	▲20.6	▲28.0	▲1.2	▲22.0	▲12.4	▲77.1	39.9	▲52.4	▲5.1

8月の百貨店・スーパー全店(84店)の販売額は、148.9億円で前年同月比▲5.1%と2カ月ぶりに減少した。まん延防止等重点措置の適用による外出自粛や天候不順等により、「身の回り品」が同▲28.0%、「衣料品」が同▲20.6%と前年を下回った。「飲食料品」はスーパーが堅調で同▲1.2%にとどまった。

●コンビニエンスストア販売額

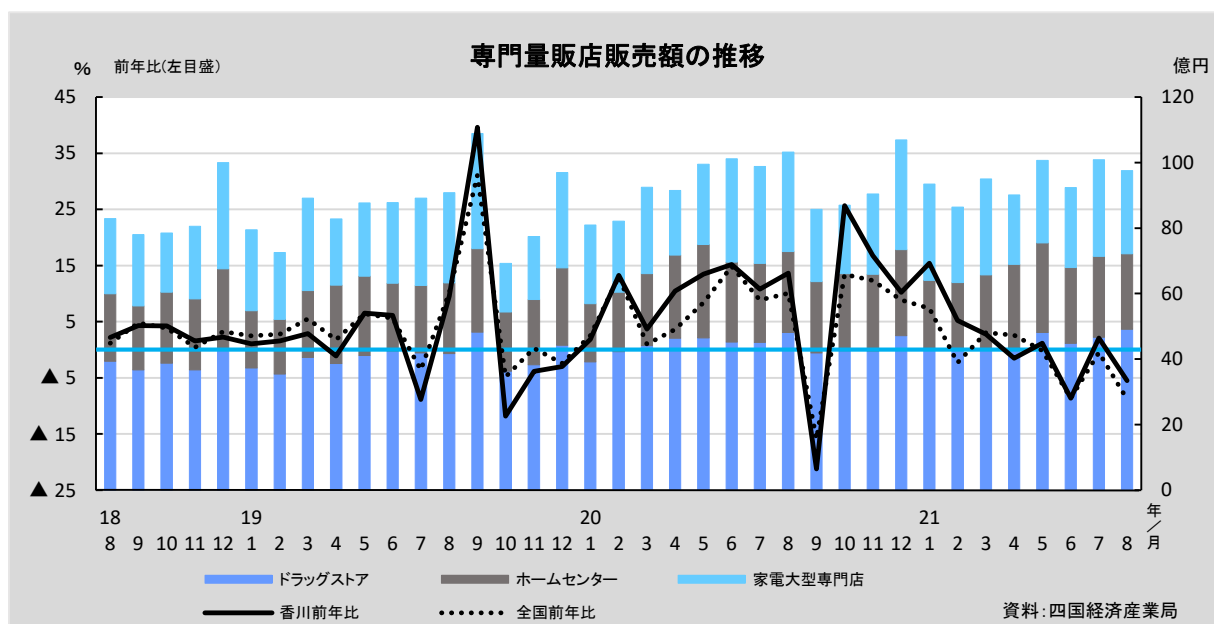
6カ月ぶり減少 ↓



8月のコンビニエンスストア全店(408店)の販売額は63.9億円で、前年同月比▲1.0%となった。外出自粛や天候不順によりコーヒー、おにぎり、アイスクリームなどの動きが鈍く、6カ月ぶりの減少となった。

● 専門量販店販売額

2 カ月ぶり減少

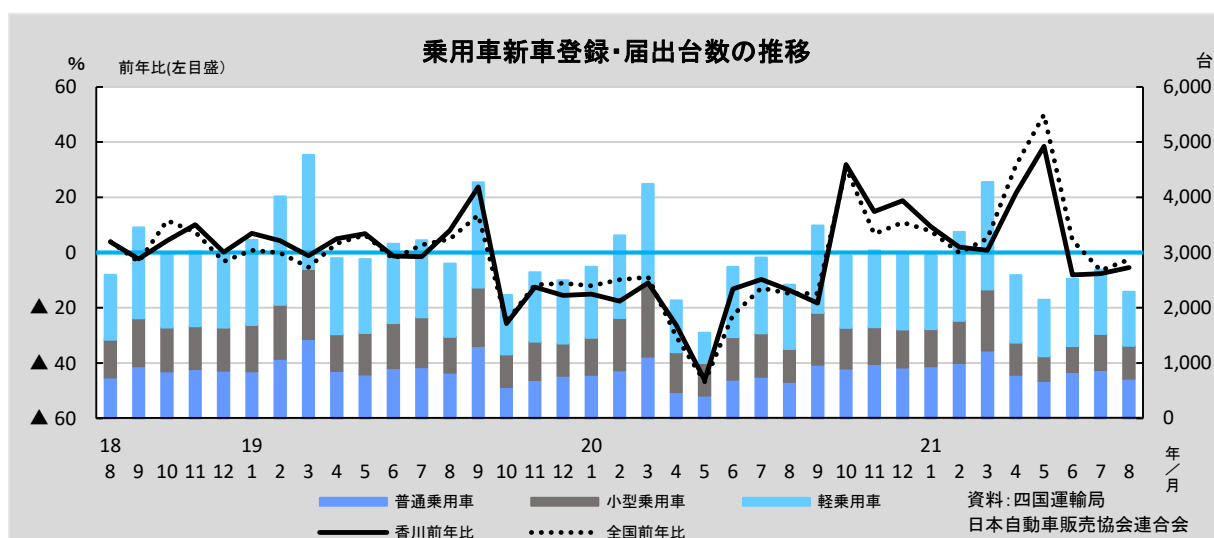


8月の専門量販店全店（203店）の販売額は97.5億円で、前年同月比▲5.5%と2カ月ぶりに減少した。

業態別にみると、前年の反動減がみられたほか、天候不順によりエアコンや冷蔵庫などの季節商品が不振だった**家電大型専門店**（29店）の販売額は、25.4億円で前年同月比▲16.4%となった。**ドラッグストア**（129店）の販売額は、肉食傾向が続き冷凍食品やアルコール飲料などの飲食料品が好調なため、49.2億円で同+2.1%。**ホームセンター**（45店）は前年の反動減がみられたほか、天候不順により扇風機などの季節商品が低調だったため、販売額は23.0億円で同▲6.9%となった。

● 乗用車新車販売台数

3 カ月連続減少



8月の乗用車（普通・小型・軽）新車販売台数は2,291台で、半導体不足のほか、東南アジアのコロナ感染拡大で部品調達が滞り、前年同月比▲5.4%と3カ月連続で減少した。

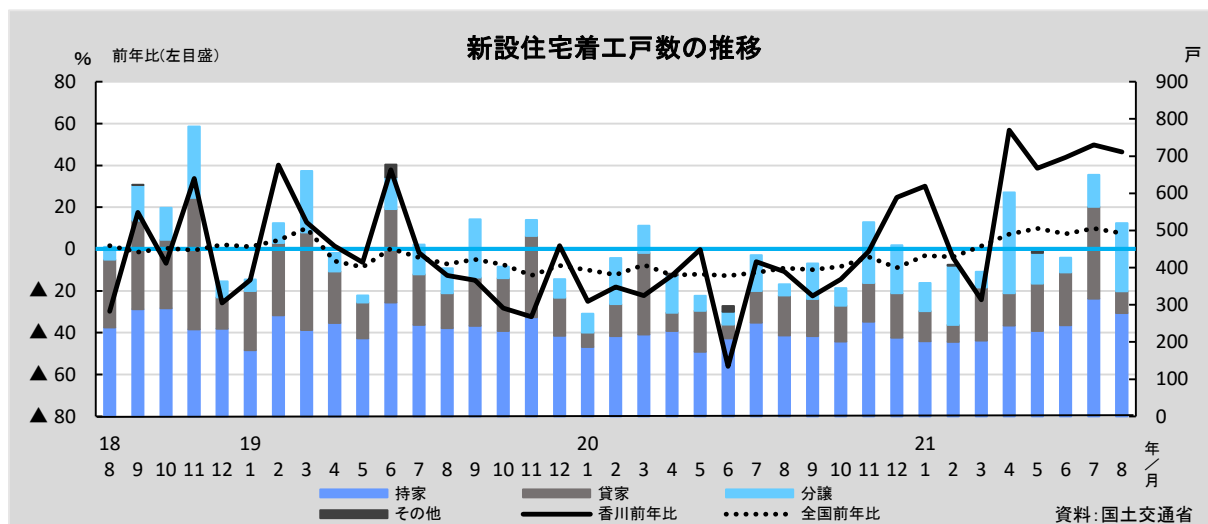
車種別にみると、普通乗用車で前年同月比+9.0%、小型乗用車で横ばい、軽乗用車で同▲16.3%となった。

住宅投資

持ち直している

●新設住宅着工

5 カ月連続増加 ↑



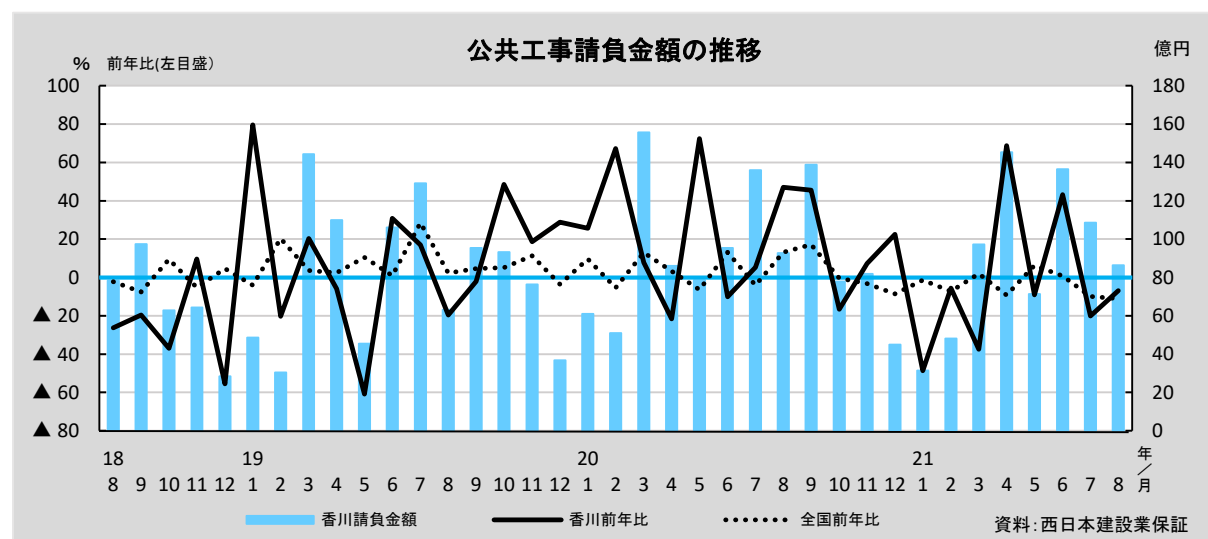
8月の新設住宅着工戸数は520戸で、前年同月比+46.5%と、5カ月連続で増加しました。利用関係別にみると、**持家**で前年同月比+27.5%、**貸家**で同▲45.8%、**分譲住宅**で同+513.3%となった。

公共投資

減少傾向となっている

●公共工事請負金額

2 カ月連続減少 ↓



8月の公共工事請負金額は86.4億円で、前年同月比▲6.8%と2カ月連続で減少しました。発注者別にみると、**国・独立行政法人等**で前年同月比▲21.2%、**県**で同+18.1%、**市町**で同▲50.8%となった。

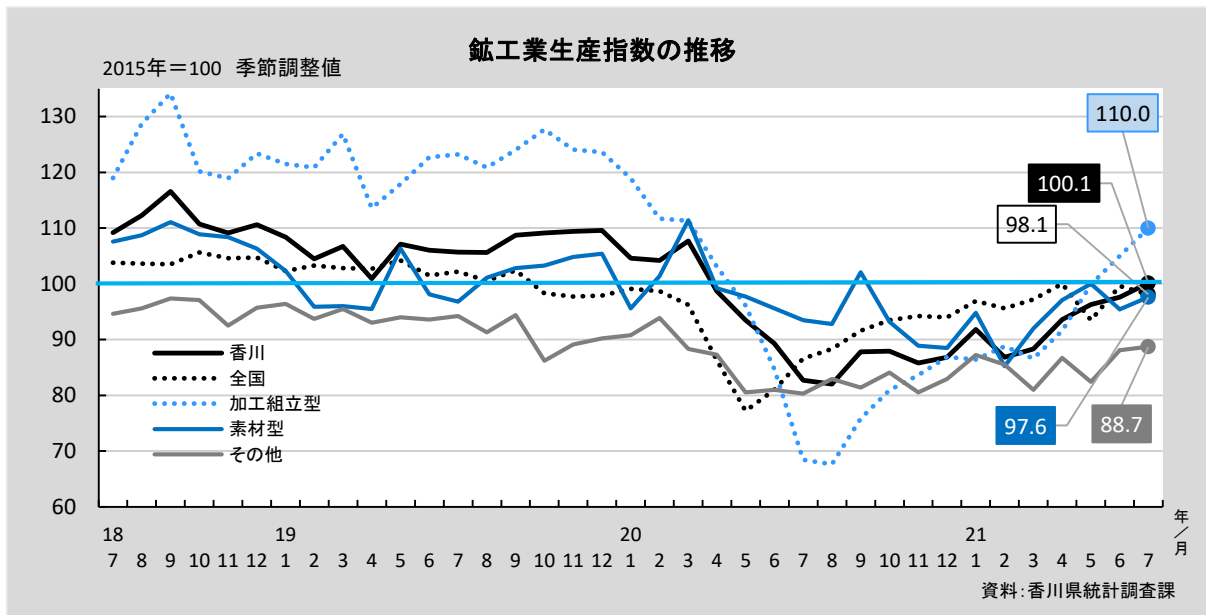
4～8月の累計では前年同期比12.2%増加している。

生産活動

持ち直している

● 鉱工業生産指数

5 カ月連続上昇 ↑



7月の鉱工業生産指数（季節調整済指数）は100.1（前月97.6）となり、5カ月連続で上昇した。

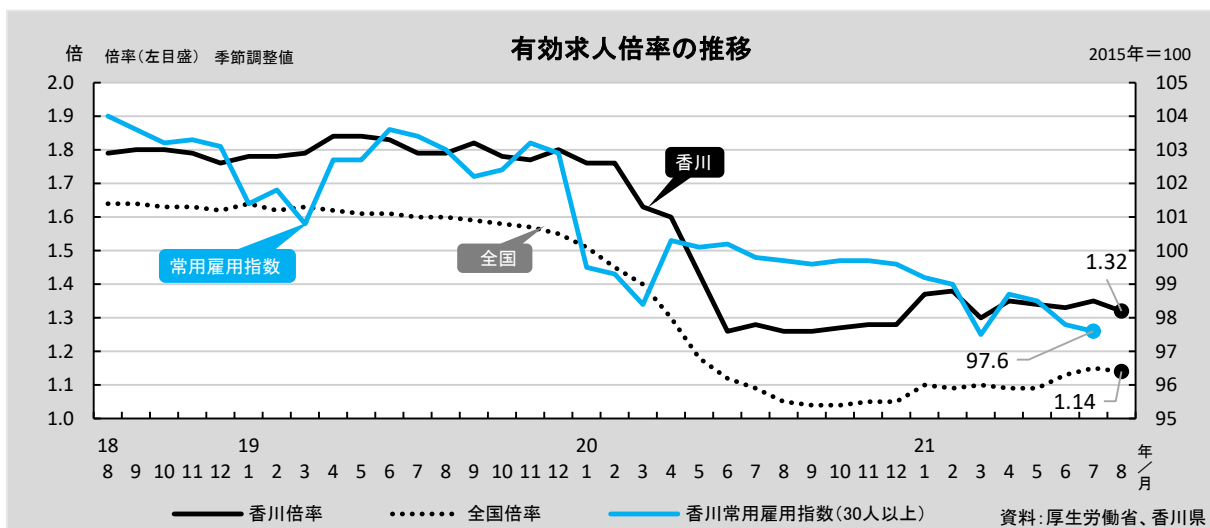
業種別では、加工組立型の輸送機械工業（鋼船など）は前月比+17.6%、素材型の非鉄金属工業（電気金など）は同+12.7%と上昇した。一方、素材型の化学・石油石炭製品工業（医薬品など）は同▲16.9%と低下した。

雇用情勢

弱い動きが続いている

● 有効求人倍率

2 カ月ぶり減少 ↓



8月の有効求人倍率（季節調整値）は、1.32倍（全国19位）と前月より0.03ポイント低下した。

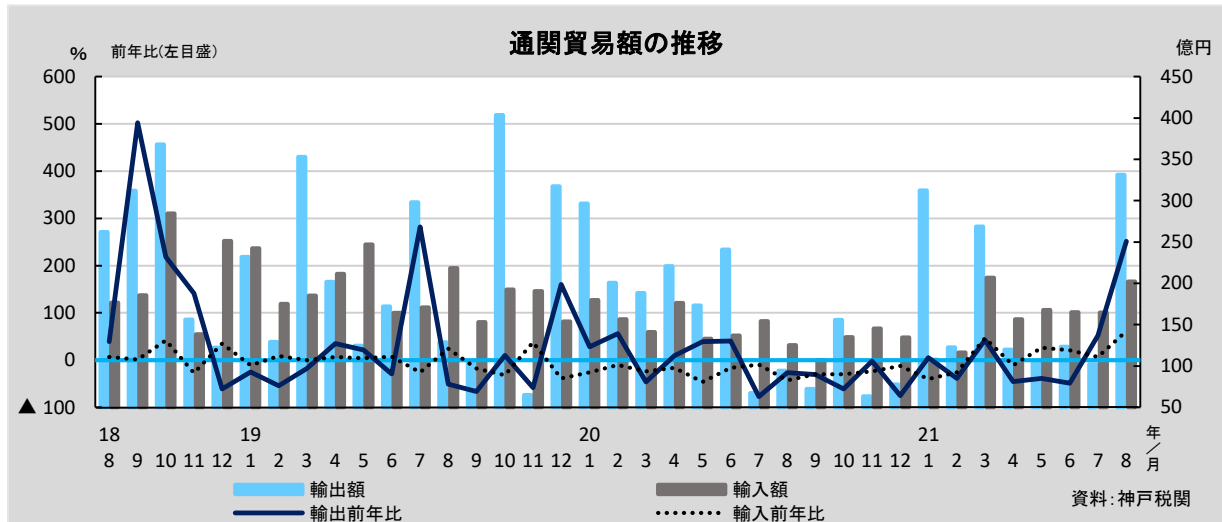
新規求人（原数値：前年同月比）は、情報通信業、宿泊業・飲食サービス業、不動産業・物品賃貸業、卸売業・小売業等が増加し、全体で+1.0%と5カ月連続で増加した。

7月の常用雇用指数（事業所規模30人以上）は、97.6となり、前年同月比は24カ月連続で低下した。

職業別常用有効求人倍率	倍
専門・技術的職業	1.94
事務的職業	0.53
販売の職業	2.18
サービスの職業	3.08
生産工程の職業	1.95
輸送・機械運転の職業	2.14
建設・採掘の職業	5.64
運搬・清掃・包装等の職業	1.00

貿易

輸出、輸入ともに増加している



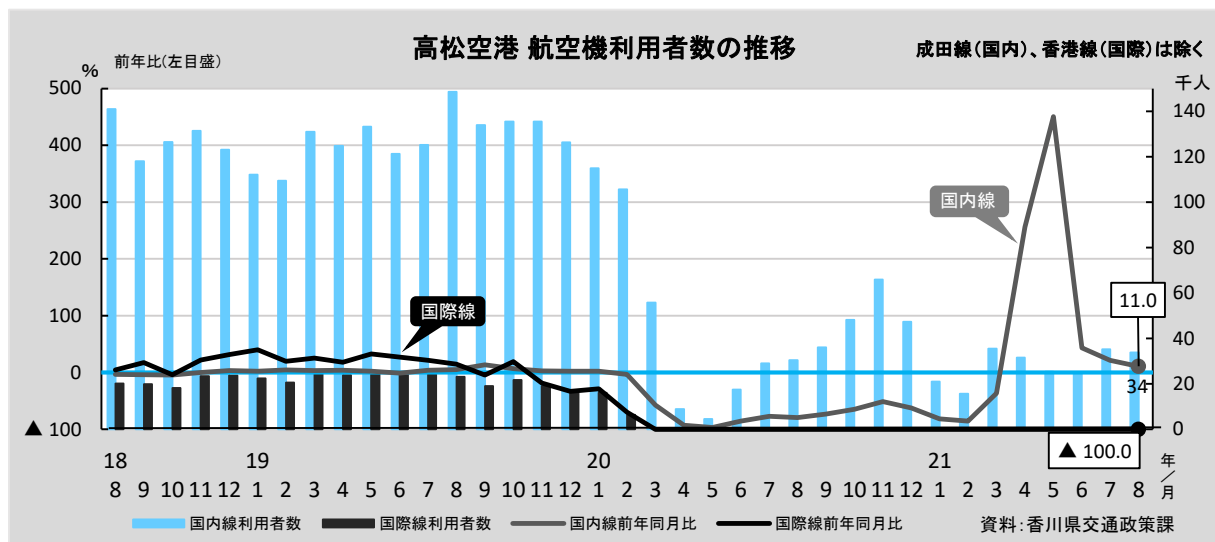
8月の輸出額は前年同月比+251.7%の331.3億円、輸入額は同+61.5%の202.1億円となり、差し引き129.2億円の出超となっている。

輸出は、貨物船輸出額が同+450.0%の156億円となった。輸入は、液化天然ガス輸入額が同+239.6%の44億円となった。

交通

国内線は5カ月連続増加、国際線は18カ月連続全面運休

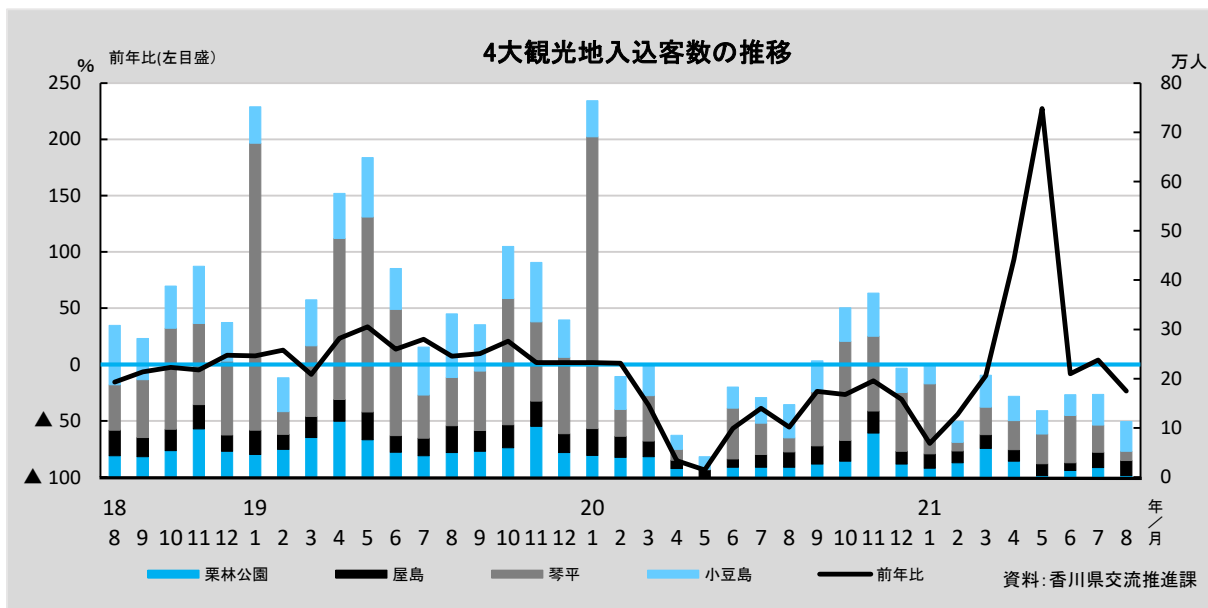
●高松空港旅客輸送実績



8月の航空機利用者数は、国内線（羽田・那覇線）が33,855人（前年同月比+11.0%）となり、5カ月連続で増加しました。羽田線は33,675人（前年同月比+16.1%）、那覇線は180人（同▲87.9%）となった。ただし、コロナ禍以前の2019年同月比は▲77.2%となった。

国際線（ソウル・上海・台北線）は新型コロナウイルスの影響により18カ月連続の全面運休となった。

●主要観光地入込客数

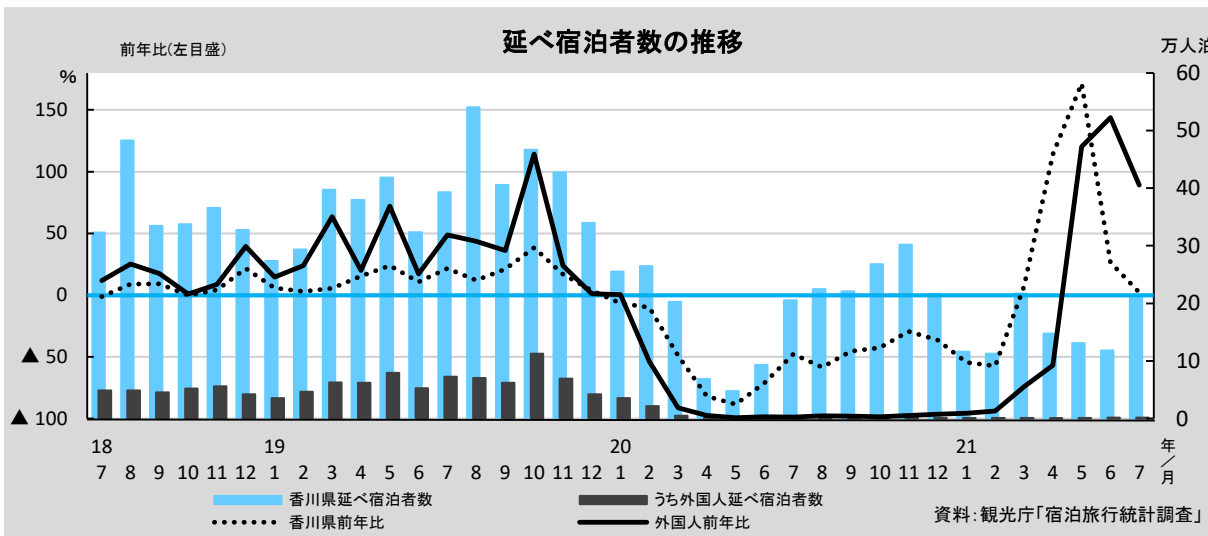


観光地入込客数		栗林公園	屋島	琴平	小豆島	合計
8月(人)	前年同月比	3,113 ▲84.8%	30,514 ▲0.2%	19,000 ▲34.5%	60,018 ▲10.6%	112,645 ▲23.5%
1~8月累計(人)		177,627 ▲13.4%	206,179 ▲11.9%	505,000 ▲47.2%	409,260 ▲2.7%	1,298,066 ▲28.5%

8月の主要観光地の入込客数は、前年同月比▲23.5%と2カ月ぶりに減少した。7月は前年比で回復の兆しがみられたものの、8月に入り新型コロナウイルスの急拡大を受け「まん延防止等重点措置」が適用され、再びマイナスとなった。

1~8月の累計では前年比▲28.5%となった。

●延べ宿泊者数



7月の延べ宿泊者数は210,070人で、前年同月比+2.3%と5カ月連続で増加したものの、コロナ禍以前の2019年同月比では▲46.6%となった。

うち、外国人延べ宿泊者数は1,910人となり、前年同月比+89.1%と3カ月連続で増加した。2019年同月比では▲97.4%となった。